



伊木まり子と 生駒の未来をつくる会ニュース

第1巻 第7号

発行日2008年1月27日

新病院、開設に向けて動き出す！

徳洲会を指定管理者に決定、東生駒駅前に10診療科を予定。
しかし、他病院が増床を申請?? 病床数確保に懸念が・・・!

昨年11月15日、山下市長は最後の勝負として新病院の運営主体を全国に公募しました。11月30日、医療法人“徳洲会”から応募がありました。12月18日に新病院整備専門委員会、12月20日に市議会の新病院設置等に関する特別委員会が開かれ、市から、応募は徳洲会だけであったこと、徳洲会は指定管理者、東生駒駅前を希望していること、徳洲会にたいするヒアリングの結果などが報告されました。市は徳洲会を運営主体として決定し、具体的な協議に入りたいとの意向を示しました。

1月18日、市は徳洲会を運営主体に決定したと発表しました。また、交渉の成り行きが懸念されていた東生駒駅前の土地の賃貸借について(株)近鉄との間で基本的に合意に達したため、今後、奈良県に対して病

院開設許可に向けた事前協議書を提出していくことを表明しました。新病院問題はようやく動き出しました。

しかし、大きな問題も明らかになりました。市内の病院が増床を申請しているという情報です。現在、西和医療圏に残っている病床数は174床。この174床を使って新病院をつくる計画をしていますが、もし他病院の増床が認められ、使える病床が減らされてしまうと新病院は開設できなくなるかも知れません。なぜこの時期に増床? どんな医療を充実させるため? 新病院ができないと小児科入院・二次救急の欠落を解消できないのでは? 予断を許しません。

県の開設許可は3月に出来ます。新病院問題は今が山場。注目してください。

市民参加が鍵です!

徳洲会は民間病院、それに市が建設費を出すなんて! という声もあります。しかし、民間病院ができるものではありません。新病院は指定管理者制度を利用して民間に病院経営を任せる自治体病院です。徳洲会は「住民参加・住民管理・住民監視」の姿勢でと言っています。良い病院になるかどうかは市民の参加にかかっているのです。

ここが知りたい

- ・ 徳洲会とは?
- ・ 診療科は?
小児科・産科を含む10診療科を予定
- ・ どこでできるの?
東生駒駅前
- ・ 赤字にはならない?
生駒市は建物と借地料を負担。経営は徳洲会の独立採算。市からの補助金なし。赤字が出ても市がかぶることなし。
- ・ 市民参加は?
新病院の基本姿勢に明記。
- ・ 本当にできるの?
他病院から増床申請あり。今なぜ??
ベッド数が確保できるかは不確定。

詳細はまり子
ニュースをご覧ください!
1月31日、
4大紙に折込み
ます!

2月の予定

2月8日(金) AM10-
議会改革の検討
会/3部会

2月10日(日)PM1,5
セイセイビル
男女共同参画推進
条例制定記念式典
記念講演

2月24日(日) PM2-
セイセイビル
奈良フォーラム～
性同一性障害特別
法の改正を求めて
～

ホームページとプロ
グもご覧ください!
http://
www.eonet.ne.jp/
~ikomanomirai



1月の行事に参加して

消防出初め式、成人式など今まで1市民には縁遠かった式典に出席しました。

出初め式には荒井知事も出席され、県防災システムの責任者としてのご自身の役割を説明されました。荒井知事なら災害時に県民の安全のために陣頭指揮をしてくださるのではと期待を持ちました。

成人式は噂通りがやがやしていましたが、10才の子ども達からのメッセージには新成人達は静かに耳を傾けていました。子供の話を聞くことのできる新成人なら、きっと良い社会人、良い親になるだろうと安堵しました。

17日は阪神大震災から13年、被害を受けた芦屋市に行き被災者の話を聞く機会

まり子の感想です

を得ました。地震が来たら私はどう行動するか? 防災意識の不十分さを再認識しました。市には防災計画があります。議員の行動を含め、それで十分なのか、実行できるのかを検討したいと思います。

20日は環境シンポジウム、会場は参加者でいっぱいでした。地球温暖化は人類存続に関わる問題です。温暖化には全ての国が最重要課題として取り組まなければならないと思います。残念ながら参加者の多い割に盛り上がりには欠けました。次回は市民・市・議会などが競って取り組みを発表しあうような、熱気あふれる会になることを希望します。



第2回市政報告会 寒い雨の中、ご参加ありがとうございました。

今は新病院開設の正念場、その重要性和市の動きを皆様に伝えねばならない、そんな気分を押されて12月議会が終了した翌日、2回目の市政報告会を開催しました。約1時間、まり子議員からの新病院問題を中心とした報告の後、約1時間、意見交換を行いました。お越しくださった40人近い皆様から貴重なご意見を戴きました。また、17人の方にアンケートにお答えいただきました。熱い意見に背中を押していただき、また、歩いていけそうです。



熱い熱いご意見に『がんばらないと！』と元気を戴きました。

新病院問題

- ・生駒市が行った病院の医業関係の収支予測には疑問点あり。徳洲会と協議の上、再度呈示してほしい。
- ・徳洲会は医療の質を上げながらコストを下げるために努力をしている。
- ・徳洲会は患者の評判がよい。短期間にたくさんの病院をつくった手腕を参考にすべきである。しかしその手法に疑問もある。政治力の利用や危ない資金調達の可能性はないか？市はしっかり調べてほしい。
- ・徳洲会で治療を受けたがとてもよかった。市民の生活を守るのは市の役目。生駒市も市議も守っていない。市民の健康を守っていない！
- ・病床確保のために市長は県に頼みに行くべき。
- ・閉院に至った経緯について情報公開を求めて続けてほしい。患者・市民の願いを無視した一方的な閉院に関して、前市長・前知事の判断に疑問を持っている。
- ・前市長はじめ幹部が全く無駄なこと(足湯・山林問題)をしながら非常に必要な病院を廃院にしたのは市民としてはずかしい。
- ・新病院の名称について：市、市民、運営主体いずれもが“市民の病院”という意識を持つように『生駒市**病院』と“生駒市”を入れるべきである。年に1～2度、病院側、市民、市(議会含む)が参加し、モデル病院化委員会(仮称)を実施してほしい。
- ・奈良市立病院においては市長、市議会、市幹部、国会議員が一体となり市立病院を設置したと聞いている。生駒市の関係者もよく学ぶべき。
- ・議員と市長が共に手をつないで少しでも市民の側に立った誇れる病院が出ることを心待ちにしています。
- ・立地のよい東生駒駅前の病院実現を希望する。
- ・「関西一住みよい生駒市」という市長のスローガンからも、市民の健康を守る病院確保は大事。

会場からの声とアンケートに記入いただいたご意見を紹介します。

- ・市民病院のない不便さを痛感しています、一日も早い建設を待ち望んでいます。
- ・指定管理者方式については市の大きなチェックとマネジメントが必要。
- ・市議会全体に「新病院を設置するんだ」という意気込み・気迫が感じられない。市民の税金を市民安全・市民医療などに使うのであるので、意気込みがあって当然だと思う。一致団結して設置に取り組むべき。

その他の問題

- ・生駒駅北の開発は市民の声を聞き、公共施設を優先すべき。市は営利事業に手を出すべきでない。
- ・冠婚葬祭のできる場所を作りたい。
- ・竜田川の汚染対策と川沿い歩道確保・整備をしてほしい。
- ・商店がなくなり高齢者が日常生活に必要な買い物に苦労している。老後の生活が心配。
- ・暗峠のハイキングコース整備を進めてほしい。
- ・消防署解体工事でのアスベスト対策は大丈夫か？
- ・県の関係者による教育指導に疑問あり。
- ・市議の任期は3～4回に限定する条例をつくるべきである。
- ・罪を犯した議員は辞めるべきです。
- ・市議は市民の奉仕者であるはず。誰のために存在しているのかわかっていない市議がいる。
- ・政治倫理条例の即時可決を！
- ・議員が自分の利害で行動したり一部の後援者の代弁者となる等は排除されるべき。
- ・市長は独断で行動していて、市民の声を聞いてくれるのか疑問に思う。市議はしっかり監視を。

ご意見ありがとうございました。

編集後記：日頃には迅速には行動できない性格で、ゆっくり考えてから動き出します。いらいらされることもあるかと思いますが、ご意見を参考に取り組みたいと思っています。(まり子) 今回の後援会ニュースはほとんど議員本人が書いてしまいました。たまにはこのようなニュースもいいかと思います。編集担当のMIもがんばりますが、みな様のご支援をお願いします。(MI)